

財団法人 日本サッカー協会  
平成 18 年度 第 1 回理事会

協議事項

|  |
|--|
| <p>1. J F A アカデミー福島 平成 19 年度入学生選考試験の件</p> <p>「J F A アカデミー福島 平成 19 年度入学生選考試験」を下記の日程で実施する。</p> <p>男子</p> <p>0 次（仮名）選考試験</p> <p>8 月 20 日（日）ビッグレイク野洲川歴史公園サッカー場</p> <p>8 月 26 日（土）J ヴィレッジ</p> <p>8 月 27 日（日）トヨタスポーツセンター練習場</p> <p>東京・神奈川・九州で場所・日時を調整中</p> <p>1 次選考試験</p> <p>9 月中旬で東京・福島で場所を調整中</p> <p>2 次選考試験</p> <p>10 月 13 日（金）～15 日（日）J ヴィレッジ</p> <p>最終選考試験</p> <p>11 月 2 日（木）～6 日（日）J ヴィレッジ</p> <p>女子</p> <p>1 次選考試験</p> <p>9 月 9 日（土）・10 日（日）J ヴィレッジ</p> <p>9 月 23 日（土）ビッグレイク野洲川歴史公園サッカー場</p> <p>2 次選考試験</p> <p>10 月 7 日（土）～9 日（日）J ヴィレッジ</p> <p>最終選考試験</p> <p>11 月 10 日（金）～12 日（日）時の栖</p> |
| <p>2. トレセン/U-16 地区リーグ支援制度の件</p> <p>昨年度より引き続き別紙要綱にて募集を開始する。</p> <p>昨年度は支援開始年のためリーグ戦を実施していることを優先に認定したが、支援 2 年目となる本年度は“整備の年”と位置づけ、トレセンマッチデー等を利用し年間を通じたリーグ戦が展開されているかを認定項目のひとつとして加える。</p> <p>昨年度分として、大阪府サッカー協会の募集を追加受付し、企画提案書の精査とヒアリングを行なった結果、支援対象とする。</p> <p>※資料No. 1</p>  |

## 3. トレセン/9地域スタッフ研修会支援制度の件

昨年度より引き続き別紙要綱にて支援を行う。

※資料No.2

## 4. 平成17年度公認S級コーチ養成講習会判定結果の件

全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため下記2名を公認S級コーチと認定する。

氏名：坂下 博之

所属チーム：西多摩 SSS1993

生年月日：1959年5月6日（46歳）

資格：1998年 公認B級コーチ（旧C級コーチ）

2001年 公認A級コーチ（旧B級コーチ）

指導歴：1991年～2004年 亜細亜大学体育会サッカー部監督

1998年 関東大学選抜Aチーム監督

2000年、2004年 関東大学選抜Bチーム監督

1993年～西多摩 SSS1993（アジア FC ジュニアから改名）監督

氏名：井原 正巳

所属チーム：筑波大学蹴球部

生年月日：1967年9月18日（38歳）

資格：2004年 公認B級コーチ

指導歴：2003年～横浜Fマリノス ふれあいプロジェクトゲストコーチ

2003年～JFA アンバサダー

2005年～筑波大学蹴球部特別コーチ

## 5. 2005年度（平成17年度）公認A・B級コーチ養成講習会判定結果の件

※資料No.3

## 6. 専門学校における指導者養成講習会の件

以下の専門学校において、平成18年度以降より公認C級コーチ養成講習会の開設を認める。

➤ 横浜リゾート&スポーツ専門学校（神奈川県）（C級）

インストラクター：山本富士雄氏（公認47FAインストラクター）

➤ 日本工学院八王子専門学校（神奈川県）（C級・D級）

インストラクター：和田武倫氏（横浜F・マリノス）  
望月 選氏（横浜F・マリノス）  
小池直文氏（横浜F・マリノス）

#### 7. 平成18年度ナショナルトレセンコーチ〔女子担当〕の件

次の12名を、平成18年度のナショナルトレセンコーチ〔女子担当〕とする。

女子担当チーフ： 今泉 守正

(U-20 日本女子代表監督／J F Aアカデミー福島女子ヘッドコーチ)

北海道担当： 松田 哉 ※新任

東北担当： 坂尾 美穂（J F Aアカデミー福島女子コーチ） ※新任

関東担当： 手塚 貴子（U-20 日本女子代表コーチ／N P O法人ブランカ）

北信越担当： 榎本 恵子（アルビレックス新潟レディース） ※新任

東海担当： 山口小百合（磐田市役所）

関西担当： 加治 真弓（神戸市立王塚台中学校）

中国担当： 和田 敬（岡山県立邑久高等学校） ※新任

四国担当： 田口 禎則

九州担当： 北川ちはる（九州総合スポーツカレッジ） ※新任

G K担当： 西入 俊浩（東京電力女子サッカー部 マリーゼ） ※新任

※資料No. 4

#### 8. 審判委員会の委員追加の件

レフェリーカレッジのカレッジマスターとして専任となる（2006. 4. 1～）、太田 潔氏を審判委員会の委員に追加する。

氏 名：太田 潔（オオタ キヨシ）

生年月日：1956年6月14日（49歳）

#### 9. Jリーグ加盟を標榜するクラブに対する優遇措置 実施要項 改定の件

Jリーグ準加盟クラブ制度の制定にともない、「Jリーグ加盟を標榜するクラブへの措置（飛び級）」についての実施要項を改定する。

※ 資料No. 6

#### 10. 「アジア代表日本」企画展示会共催の件

九州国立博物館で開催される「アジア代表日本」企画展示会を共催

## ＜「アジア代表日本」概要＞

- 開催時期 2006年6月9日～7月9日
- 主催 「アジア代表日本」実行委員会
- 共催 九州国立博物館、大宰府天満宮
- 協力 NPO 法人アジア太平洋こども会議、(社) つくし青年会議所、アビスパ福岡、CAT
- 後援 NHK (予定)、日本経済新聞社 (予定)、西日本新聞社 (予定)、大宰府市、大宰府市教育委員会、大宰府市商工会、大宰府観光協会 (依頼中)
- 総合企画 日比野克彦 (アーティスト)

## ＜企画概要＞

2006 F I F Aワールドカップドイツ開催時期に合わせ、スポーツとアートを融合させた新しい展示催事を九州国立博物館で開催。アジア文化の玄関口である大宰府において、現代の文化交流という視点でワールドカップを捉えるとともに、アジアの代表としての日本という意識を持ち、人と人との係わり合いが文化を築き上げていくことを体感する。

ワールドカップアジア予選に参加した日本を除く 36 カ国の文化を紹介するとともにアジアの国々が一つになって世界に発信する標の制作を一般市民の参加型ワークショップで行う。

## ＜展示概要＞

- 作品(F U N E) 36 艘の船 (ワークショップ形式 日比野克彦監修)
- 36 カ国の子どもたちのサッカーをテーマとした絵
- 36 カ国のお宝
- 各国代表ユニフォーム、フラッグ、バッジその他グッズ
- ドイツ本大会でのアジアの人々声援の映像
- ワールドカップの生中継パブリックビュー
- 日本のサッカーミュージアム所蔵のワールドカップ関連品
- 川淵キャプテンのメッセージ

## ＜催事概要＞

- 大宰府CUP (F U N Eの制作にエントリーした 36 チームがサッカー大会を行う)
- トークショー (日比野克彦、J リーガー)
- ワークショップ (アビスパ福岡、日比野克彦)

## 11. J F Aロングパイル人工芝ピッチ公認の件

1. 公認申請者：鹿沼市長 阿部 和夫  
 施設名：自然の森総合公園多目的人工芝グラウンド  
 ロングパイル：ハイブリッドターフ (LP-65) ・SRIハイブリット株  
 人工芝 (種類)  
 公認日：2006年4月13日～2009年4月12日  
 公認番号：第35号

## ＜特記事項＞

- ◆ ハイブリッドターフ (LP-65) は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき 2 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. 公認申請者：埼玉県知事 上田 清司  
 施設名：埼玉スタジアム 2002 公園第 4 グラウンド (人工芝)  
 ロングパイル：SPターフ (65) ・スポーツ施設(株)  
 人工芝 (種類)  
 公認日：平成 18 年 4 月 13 日～平成 21 年 4 月 12 日  
 公認番号：第 036 号

## ＜特記事項＞

- ◆ SPターフ (65) は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき 2 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

3. 公認申請者：茨城県知事 橋本 昌  
 施設名：(仮)プレジャータウン波崎 サッカー場 A  
 ロングパイル：SPターフ (65) ・スポーツ施設(株)  
 人工芝 (種類)  
 公認日：平成 18 年 4 月 13 日～平成 21 年 4 月 12 日  
 公認番号：第 037 号

## ＜特記事項＞

- ◆ SPターフ (65) は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき 2 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

4. 公認申請者：茨城県知事 橋本 昌  
 施設名：(仮)プレジャータウン波崎 サッカー場 B  
 ロングパイル：SPターフ (65) ・スポーツ施設(株)  
 人工芝 (種類)  
 公認日：平成 18 年 4 月 13 日～平成 21 年 4 月 12 日  
 公認番号：第 038 号

## ＜特記事項＞

- ◆ SPターフ (65) は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき 2 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

5. 公認申請者：松江市長 松浦 正敬  
 施設名：松江市営補助競技場  
 ロングパイル：ハイブリッドターフ (LP-65) SRI ハイブリッド(株)  
 人工芝 (種類)

公 認 日：平成 18 年 4 月 13 日～平成 21 年 4 月 12 日

公 認 番 号：第 039 号

<特記事項>

- ◆ ハイブリッドターフ (LP-65) は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき 2 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

6. 公 認 申 請 者：理事長 坪井 清

施 設 名：桃山学院大学メイングラウンド

ロングパイル：モンドターフMFエコフィル (51276100) ・クリヤマ(株)

人工芝 (種類)

公 認 日：平成 18 年 4 月 13 日～平成 21 年 4 月 12 日

公 認 番 号：第 040 号

<特記事項>

- ◆ モンドターフMFエコフィル (51276100) は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき 2 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

## 12. 第 2 回日本サッカー殿堂 特別選考候補者の件

### 第 2 回日本サッカー殿堂

掲額特別選考候補者として、以下の 10 人 (順不同) を推薦する。

1. 新田 純興 氏 (JFA 創設に尽力。JFA 常務理事。日本サッカー史の権威。)
2. 篠島 秀雄 氏 (第 9 回極東大会選手、JFA 副会長、理事長。)
3. 竹内 悌三 氏 (ベルリン五輪主将、入村時旗手。)
4. 福島 玄一 氏 (日本初の FIFA 審判功労賞受賞。JFA 理事、審判委員長。)
5. 二宮 洋一 氏 (日本代表監督。第 1 回アジア大会には選手兼任。)
6. 岩谷 俊夫 氏 (メルボルン五輪予選主将、ユース代表監督。)
7. 賀川 太郎 氏 (第 1、2 回アジア大会選手、1954 ワールドカップ予選選手。)
8. 鴫田 正憲 氏 (メルボルン五輪選手、第 1、2 回アジア大会選手。)
9. 小野 卓爾 氏 (JFA 専務理事、1965 年 1971 年アジアユース運営総本部長。)
10. 玉井 操 氏 (第 8 回極東大会選手。JFA 副会長。関西協会会長。)

### 第 2 回「日本サッカー殿堂」今後スケジュール

2006 年 4 月 13 日 日本サッカー協会理事会 特別選考掲額者を承認・発表

2006 年 5 月 日本サッカー殿堂 第 2 回式典および掲額

※ 第 2 回は特別選考のみとする。

## 第3回「日本サッカー殿堂」掲額スケジュール

- 2006年5月 日本サッカー殿堂委員会 投票候補者名簿を作成
- 2006年6月 日本サッカー殿堂委員会 特別選考推薦者を決定
- 2006年7月 日本サッカー協会理事会 投票掲額者および特別掲額者を承認
- 2006年9月10日 第3回日本サッカー殿堂掲額式典
- ※ 第3回以降は、原則、毎年第3回のスケジュールを踏襲する。
- ※ 第1回の投票候補者は、第3回以降も候補者とする。

※資料No.7

## 13. キャプテンズ・ミッション（CHQ）関連事項について

## I. 平成17年度「JFAメンバーシップ制度基本還元金」について（協議事項）

## 1. 交付金「法人格」の対象協会（現段階：合計32協会）

## ➤ 大阪府サッカー協会

- 1) 法人格を取得した時期：2006年2月24日
- 2) 法人の形態：社団法人
- 3) 届け出書受付日：2006年3月6日
- 4) 支給金額：25万円

※平成17年度の内、1月～3月での認定となるため、規定により25%を支給。

※ 2006年4月末までに下記の8協会が法人格取得予定

宮城・福島・山梨・愛知・香川・愛媛・長崎・鹿児島（合計40協会）

## II. 平成18年度「JFAメンバーシップ制度基本還元金」について（協議事項）

## 1. 交付金「事務局」の対象協会（現段階：合計44協会）

## ➤ 茨城県サッカー協会

- 1) 常勤事務局体制が整備された時期：2006年4月1日
- 2) 基準対象者：小暮 幸輝（事務局長）
- 3) 申請書受付日：2006年4月1日
- 4) 支給金額：100万円

※平成18年度の内、4月～6月での認定となるため、規定により100%を支給。

## ➤ 富山県サッカー協会

- 1) 常勤事務局体制が整備された時期：2006年4月1日
- 2) 基準対象者：貫江 和夫（専務理事）
- 3) 申請書受付日：2006年4月1日
- 4) 支給金額：100万円

※平成18年度の内、4月～6月での認定となるため、規定により100%を支給。

## ➤ 石川県サッカー協会

- 1) 常勤事務局体制が整備された時期：2006年4月1日
- 2) 基準対象者：荒川 剛（常務理事・事務局長）
- 3) 申請書受付日：2006年4月1日
- 4) 支給金額：100万円

※平成 18 年度の内、4 月～6 月での認定となるため、規定により 100%を支給。

➤ 香川県サッカー協会

1) 常勤事務局体制が整備された時期：2006 年 4 月 1 日

2) 基準対象者：中山 久美子（事務局長）

3) 申請書受付日：2006 年 4 月 1 日

4) 支給金額：100 万円

※平成 18 年度の内、4 月～6 月での認定となるため、規定により 100%を支給。

**III. 平成 18 年度「JFA メンバーシップ制度基本還元金」について（協議事項）**

1. 基本還元金 一覧表

※資料No.8

2. 法人格／常勤事務局体制 一覧表

※資料No.9

**IV. 平成 18 年度キャプテンズ・ミッション各種支援制度活用度について（報告事項）**

※資料No.10

**V. 「都道府県協会組織(支部・地区協会／市区郡町村協会)機構改革と未登録チームの登録推進」(CHQタスクフォース)について（報告事項）**

※資料No.11

**VI. CHQ業務総括／業務目標について（報告事項）**

1. 平成 17 年度下期 業務総括

※資料No.12

2. 平成 18 年度上期 業務目標

※資料No.13

**VII. その他（報告事項）**